

政治と宗教

—旧統一教会問題を中心に—

講演 島 蘭 進

【略歴】1948年、東京都出身/東京大学大学院人文科学研究課博士課程単位取得、東大教授、米シカゴ大学教授、上智大学グリーンケア研究所所長などを歴任。

【著書】『日本仏教の社会倫理』（岩波現代文庫）、『政治と宗教：統一教会問題と危機に直面する公共空間』（岩波新書）など多数



6月3日(土)午後2時～4時 (開場 1:30 予定)
藤沢商工会館ミナパーク6F 多目的ホール

※寒川方面の方;町民センター(午後12時30分出発)から送迎もあります。

※大庭方面の方も、クリエイト駐車場裏(午後13時出発)送迎があります。

参加費:当日1,000円/事前申し込み800円/大学生500円/中・高生無料

☆zoomあり;ご希望の方は事務所までアドレスをお知らせください

昨年7月8日に起きた安倍晋三元首相銃撃事件をきっかけに、「旧統一教会(世界平和統一家庭連合)」と政治の関わりに注目が集まっています。宗教団体が社会において一定の政治的役割を果たすことはごく普通のことですが、旧統一教会については、「靈感商法」・「合同結婚式」・「多額の献金」・信徒を親に持った「宗教2世」など、様々な問題点がマスコミ等で報じられています。

そもそも、旧統一教会が他の宗教団体と比べてどのような特徴を持っているのか?これまでどのような活動をしてきたのか?政権与党の政治家と結びつくことによって日本の政治にどのような影響を与えてきたのか?旧統一教会のような宗教団体が、なぜ多くの若者を深くとらえるのか?明らかにされなければならない問題が数多くあります。

今回は、新宗教研究の第一人者である島蘭進さんをお招きして、政治と宗教の問題について縦横に語っていただきます。ふるってご参加ください。

【主催】あべともこと共に歩む会/立憲民主党神奈川第12区総支部

TEL:0466-52-2680 FAX:0466-52-2681

E-mail:inochi@shonanfujisawa.com

